

令和5年度 通信教育実施計画 【情報Ⅰ】

情報Ⅰ	学年	1	単位数	2	課題	6枚	面接	8時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「新編情報Ⅰ」 東書 情Ⅰ701
-----	----	---	-----	---	----	----	----	-----	------------	----------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

(2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年8時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	第1章 情報で問題を解決する	第2章 情報を伝える	第2章 情報を伝える	第3章 コンピュータを活用する	前期の復習	第3章 コンピュータを活用する
学習項目	情報とメディアの特性 問題解決の流れ 発想法	コミュニケーション手段の変化 ネットコミュニケーションの特徴 デジタルの世界へ	数値と文字のデジタル表現 音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現 目的に応じたデジタル化	コンピュータとは何か ソフトウェアの仕組み 演算の仕組みとコンピュータの限界	前期単位認定試験	アルゴリズムの表現 プログラムの基本構造1・2 発展的なプログラム1・2
学習内容	情報の特性から、情報とは何かを理解する。 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。	メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 メディアの特性について学習する。	2進法と情報の単位について学習する。 文字のデジタル表現について学習する。	コンピュータの基本個性について学習する。 ハードウェアとソフトウェアについて理解する。		アルゴリズムの必要性を理解する。 プログラムの作り方について学習する。 プログラムの制御構造について学習する。
添削課題		添削課題 1回目	添削課題 2回目			添削課題 3回目
面接指導			面接指導 4時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	第4章 データを活用する	第4章 データを活用する	巻末	巻末	1年間の復習	1年間の復習
学習項目	データの形式 データベースの活用 さまざまなデータモデル	データ分析の流れ 目的に合わせたデータの利用	文書処理ソフトウェアの操作 表計算ソフトウェアの操作	プレゼンテーションソフトウェアの操作 問題解決のツール	後期単位認定試験	後期および1年間の内容を振り返る。
学習内容	データとは何か学習する。 データベースの役割がどのようなものか理解する。 社会でのデータベースの活用例を学習する。	データ分析の流れと方法を学習する。 分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。	文書処理ソフトウェアの操作を学習する。 表見さんソフトウェアの操作を学習する。	プレゼンテーションソフトウェアの操作を学習する。 問題解決のツールについて学習する。		
添削課題	添削課題 4回目	添削課題 5回目		添削課題 6回目		
面接指導		面接指導 4時間				

令和5年度 通信教育実施計画 【情報Ⅱ】

情報Ⅱ	学年	2	単位数	2	課題	6枚	面接	8時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「情報Ⅱ」 東書 情Ⅱ701
-----	----	---	-----	---	----	----	----	-----	------------	--------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解している。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養っている。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養っている。

(2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	1章 情報社会 実習編	1章 情報社会 理論編	2章 コンテンツ 実習編	2章 コンテンツ 理論編		3章 データサイエンス 実習編
学習項目	うわさの研究 地域のデータを可視化しよう 人工知能と仕事を考える POSシステムを調べる	情報社会の進展と情報技術 コミュニケーションの多様化 人間の知的活動への影響	プログラムで絵を描こう 3Dの新製品の開発をしよう キャラクターを動かそう 楽しく体を動かそう 情報をまとめよう 学校PRプロジェクト 情報のチェックリストを作ろう プロジェクションマッピング	メディアの特性と利用 コンテンツの制作 コンテンツの発信	前期単位認定試験	データを地図上に可視化する ガチャは何回引けば当たるのか データを整理しよう キーボード配列を研究しよう 星座ランキングを分析しよう 好きなものをマップにしよう
学習内容	情報社会について実習を通して学習する。	情報社会について理解する	コンテンツについて実習を通して学習する	コンテンツについて理解する		データサイエンスについて実習を通して学習する
添削課題		添削課題 1回目	添削課題 2回目	添削課題 3回目		
面接指導			面接指導 4時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	3章 データサイエンス 理論編	1章 情報システム 実習 編	1章 情報システム 理論 編	活用編		1年間の復習
学習項目	社会にあふれるデータ データベースの管理と操作 データの収集と整理 データの分析と分類 モデルの評価と検証 機械学習と人工知能	ニャブレットを探せ！ 顔検出とARを体験しよう 小さな情報システムを作ろう テキストマイニングしてみよう 掲示板システムを作ろう	情報システム 情報セキュリティ技術 情報システムの設計 情報システムのプログラム	問題解決学習の進め方 協働学習 アイデアを出す方法 アンケートの作り方 インタビュー QCサークル プレゼンテーションのポイント プレゼンテーションソフトウェア プレゼンテーションの評価 ポスターセッション Web会議システムの利用	後期単位認定試験	1年間の内容を振り返る
学習内容	データサイエンスについて 理解する	情報システムについて実習 を通して学習する	情報システムについて理解 する	アイデア出しやプレゼン テーションの仕方を学習す る		
添削課題	添削課題 4回目	添削課題 5回目	添削課題 6回目			
面接指導		面接指導 4時間				

令和5年度 通信教育実施計画 【社会と情報】

社会と情報	学年	3	単位数	2	課題	6枚	面接	8時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「社会と情報」 東書 社情 310
-------	----	---	-----	---	----	----	----	-----	------------	-----------------------

1 学習の到達目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に直結する科目として、下記の目標を目指していきます。

- ①大量の情報の中から自分に必要な情報を選択する力を身につける
- ②情報の真偽を見抜く力を身につける。
- ③情報のメカニズムを知り、情報を的確に処理する力を身につける。
- ④結果を新しい情報の創造や行動に結びつける力を身につける。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の正しい取り扱いを身につけている。 ○情報社会の問題点に関心を持ち、解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアからの情報を客観的に評価している。 ○目的に応じ、適切なメディアを選択することができる。 ○分かりやすく伝えるための効果的な方法を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や画像の編集を行うことができる。 ○AND, OR, NOT を使って効率よく検索できる。 ○テーマに沿った表現ができる。 ○手順に従ってQRコードを作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアの種類と特徴を理解している。 ○アナログとデジタルのそれぞれの特徴を理解している。 ○インターネットや電子メールの仕組みを理解している。 ○情報犯罪の種類や安全対策を理解している。 ○情報システムの種類と特徴について知っている。

(2) 評価の方法

- ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。
- イ 年8時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	1章 1 私たちを取り巻く情報	2 アナログからデジタルへ	3 情報の表現と伝達	2章 1 インターネットの利用	2 ネットワークとコミュニケーション	3章 1 情報化の影響と課題
学習項目	①情報とメディア ②信頼できる情報と信頼できない情報 ③情報の見極め	①情報のデジタル表現 ②デジタルデータの特徴	①情報表現と伝達の仕組み ②伝達や発表のための手段 ③効果的なプレゼンテーション	①インターネットの仕組み ②WWW と電子メール ③情報の検索	①メディアの発達 ②多様な情報発信 ③ネットコミュニケーションの特徴	①誰も表現者・発信者の時代 ②情報社会の陰 ③情報セキュリティ ④情報モラル
学習内容	・メディアの種類と特徴 ・情報の信頼性 ・メディアリテラシー	・10進法、2進法、16進法 ・デジタル表現の種類と利点、問題点など	・コンピュータによる情報伝達の特徴 ・適切なメディアの選択	・インターネットや電子メールの仕組み ・情報を検索する方法	・メディアの変遷 ・インターネット上のメディア	・情報犯罪や迷惑行為 ・情報社会での望ましい態度
添削課題		添削課題 回数①	添削課題 回数②	添削課題 回数③		添削課題 回数④
面接指導			面接指導 4時間			
定期考査					前期単位認定試験	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	2 法律と個人の責任	4章 1 社会における情報システム	2 情報システムと人間	3 情報社会と問題解決	1年間の復習	1年間の復習
学習項目	①情報社会と著作権 ②個人情報の保護	①情報システムの種類 ②情報システムの発展と進歩 ③情報化と社会の変化	①情報システムの信頼性 ②誰もが参加できる情報社会	①解決のステップ ②実際に解決してみよう		
学習内容	・著作権と著作権法 ・プライバシーと個人情報漏洩対策 ・情報モラルについて	・情報システムの種類と特徴 ・情報システム利用の事例 ・情報技術による社会変革	・情報システムの問題点 ・ユニバーサルデザイン ・QR コード	・問題解決の手順と情報機器の活用例		
添削課題	添削課題 回数⑤	添削課題 回数⑥				
面接指導	面接指導 4時間					
定期考査					後期単位認定試験	